

論

説

「税は、昨年を象徴する漢字だった（日本漢字能力検定協会アンケート1位）。

確かに防衛費大幅増への増税方針、住民税の定額減税論議など税の話題が多かった。しかし、具体策も実行も今年へ持ち越された。

もともと「税」とは、何を意味するのか。

「禾」（のぎ偏）は、稲が実って頭を垂れる姿を表し、つくりの方は抜き出す意味である。「収穫物の中



みやたけ・ごう NPO法人福祉
フォーラム・ジャパン副会長、学校
法人・社会医学技術学院顧問

宮武 剛

子育て支援の財源

税をピンハネから会費へ

から定率によって抜き出し上納させる」（角川・新字源）。なるほど稼ぎをピンハネされる庶民の恨みがこもっている。

政党・政治家が国民の反

発を恐れ増税に踏み切れないのも無理はない。だが、負担をめぐる対話を怠り、責任を避け続け、ついに国

の借金は一〇五兆円に膨張した（2024年度末の国債発行残高）。

岸田文雄政権は国際情勢の緊迫化に総額43兆円もの「防衛力整備計画」（23〜27年度）を早々に決めたも

の、財源の法人税や所得

税の引き上げは先送り、実

施時期さえ決められない。

もう一つの看板「異次元の少子化対策」はどうか。

「100万人の大都市が

毎年1つ消費減するようなス

ピードで人口減少が進む」

「少子化トレンドを反転で

きなければ、持続的な経済

成長の達成も困難」「20

30年までがラストチャン

スで、わが国の持てる力を

総動員し、少子化対策と経

済成長実現に不転の決意

で（こども未来戦略方針）。

これほど強烈な危機感の

公文書もまだだが、子育て

略にも関わらず、「消費税

費収入の不正処理で暗転を

続ける。財源策を詰める機

運はない。明確なのは「こ

ども・子育て特例公債」の

発行で当面をしのぐことだ

け。先進国で最悪の借金財

政のうえ、子や孫や曾孫へ

のツケ回しをさらに増や

し、いったいどこが「子育

て支援」なのだろうか。

パーティの会費を裏金に

するような「政治とカネ」

の国会討議を聞きながら、

英語の「TAX」には「税」

に加え、「会費」の意味も

あるのを思い出した。社会

人や企業としての責任・義

務を税という分担金で払う

意味であろう。

今国会で政治資金規制法

の徹底的な厳格化等を進

め、税金とは、社会参画に

不可欠な会費と思えるよう

な政治・政策へ一歩でも近

づけてほしい。

（本誌論説委員）